

平成20年度

中部環境パートナーシップオフィス運営業務

業務実施報告書(第2四半期分)

平成20年9月30日

特定非営利活動法人 ボランティアネイバーズ

## 1. 実施業務の内容

### (1)事務所の維持管理・基本運營業務

#### ① 開館日数及び来館者数等

7-9月の来館者は月平均226名、日平均約11名ほどである。ワークショップやセミナー開催をしたため、その参加者によって来館者数が増えている。相談・問い合わせ内容は、各種事業を開始したこともあり、政策提言、ESDの問い合わせが増え、かつ生物多様性については企業の取り組みや行政の施策、NGOの動きなど最新情報などの問い合わせが多い。

詳細は、業務日報参照。

	7月	8月	9月	合計	月平均
開館日数	23	19	21	63	21
来館者数 (日平均)	251 (10.91)	177 (9.32)	250 (11.90)	678	226
問い合わせ件数* (日平均)	217 (9.43)	99 (5.21)	163 (7.76)	479 (7.60)	156.97

※問い合わせ件数は、来館・電話の合計数。

#### ② 展示企画

「だれもがみんなの健康に生きる学びづくり」

今回は「健康」をテーマにしたESD的取り組みを展示した。ケニアやメキシコでのHIV/AIDSの現状や、その問題解決に取り組む若者の活動の様子など生の声を手作りのツールで表現し、日本で私たちにできることをメッセージとした内容であり、問題解決のための方法を紹介している。



#### ③ 運営協議会・業務計画関係

平成20年度業務計画に基づき、9月に信州ミーティングを行った。

信州ミーティング ～長野での環境パートナーシップを推進するために～

##### 概要

信州エリアにおける環境パートナーシップの現状および課題把握、かつネットワークをつくる機会として、長野県内の行政・事業者・NPO・市民を対象に、先進事例を交えての意見交換を実施した。

日時:平成20年9月10日(水)13:00—17:20

場所:長野県庁 議会棟 第1特別会議室〔長野市大字南長野字幅下692-2〕

参加者:41名(NPO・学識者15名、企業9名、行政13名、事務局4名)

〈プログラム〉

環境施策・活動の現状とパートナーシップ事例紹介

行政の施策の紹介

長野県～長野県における協働の推進について

長野県環境部環境政策課 企画係 風間 真二氏

飯田市～環境モデル候補都市 飯田市の環境施策

飯田市環境課環境政策係 小川 博氏

企業からの事例紹介

信州省エネパトロール隊

セイコーエプソン株式会社経営戦略室地球環境推進部 篠原和彰氏

子どもの環境教育(Kids ISO プログラム支援)

八十二銀行総務部部長 太田英行氏

NPO からの事例紹介

南信州飯田発「おひさまの挑戦」

NPO 法人南信州おひさま進歩 原 亮弘氏

グループセッション 「信州で環境パートナーシップを推進するためには ～＋とー～」

全体コーディネーター 日本福祉大学国際福祉開発学部教授 千頭 聡氏

ふりかえり／まとめ

(2)環境情報の収集、提供及び広報に関する業務

① 環境関係情報・資料の収集

環境教育および生物多様性の保全に関する資料が多くなっている。また、企業の環境報告書が発行されたこともあり、企業関連の資料が増えている。少し収集資料数が減少気味であるので、幅広い情報収集を心がけたい。

書籍	7月	8月	9月	合計
行政関係	40	20	15	75
企業関係	10	7	10	27
NPO 等関係	25	21	20	66
その他	7	9	9	25
合計	82	57	54	193

② ホームページの更新

実施した事業の報告および事業の紹介、参加者募集、さらには運営協議会メンバーが企画実施する事業の情報提供などをおこなった。

	7月	8月	9月	合計
アクセス数	17,974	17,329	15,152	50,455

(3)環境パートナーシップの推進業務

① スペースの提供

なごや環境大学共育講座会議、生物多様性に関する市民会議などに提供。

② 様々な主体間における連携の促進

第2四半期における、様々な主体間の連携取り組みのために取り組んだ主な事業等としては以下の通り。

■運営協議会提案事業関係

・リコー中部(株)グリーンプロモーション エコひいき 2008

協働パートナー、運営事務局として、今年度の助成の募集、選考を行った。

・なごや環境大学事業

なごや環境大学実行委員として共育講座チーム会議、なごやを動かそうチーム会議、幹事会、総会に出席。

- ・(株)デンソーデンソーエコポイント制度地域還元事業  
協働パートナーとして、今年度決定した助成団体の活動取材などを実施した。
- ・中部電力(株)環境学習キット事業(中電グループエコポイント事業)  
協働パートナーとして、キットを配付した団体の活動取材、指導を実施した。
- ・ユニー(株)提供なごや環境大学お店探検隊インタープリター養成講座・お店での環境学習の実施。  
ユニー(株)、なごや環境大学、EPO 中部の3者で企画・運営を実施。EPO 中部と連携しているNPOやインタープリターが中心となって東海・北陸の店舗で環境学習を実施した。
- ・ESD地域ワークショップIN東海  
ESD-Jと連携して、地域でのESD普及・促進を検討するワークショップを実施した。

#### ■環境省関係

- ・全国EPO連絡会(9/28)
- ・環境省ESD促進事業第1回編集委員会(9/29)

#### ■会議関係

- ・愛知県教育研修センター環境教育に関する研究会
- ・愛知県山村振興ビジョン検討委員会
- ・ESD 中部拠点運営協議会
- ・名古屋市緑の審議会・緑地保全部会
- ・名古屋市生物多様性戦略しみん検討会議

#### ■その他

- ・生物多様性に関する市民会議

### ③ 人材育成・能力開発のための環境整備

#### i 協働政策形成の推進

企画作成・政策提言テーマの募集・選考、意見交換会を実施した。

##### 1) 政策提言テーマの募集

##### 2) 第一部「平成19年度NGO/NPO・企業環境政策提言報告会/平成20年度協働型環境政策の立案・実施意見交換会」

日時：2008年8月19日(火)13:30-17:30

場所：環境省中部地方環境事務所大会議室

協力：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、飯田市、多治見市、名古屋市  
愛知県地球温暖化活動防止推進センター、愛知中小企業家同友会、地球環境パートナーシップ  
プラザ (GEIC)

報告者 宮崎 正浩氏 (国際環境 NGO FoE Japan サポーター  
/ 跡見学園女子大学マネジメント学部生活環境マネジメント学科教授)

提起者 平沼 辰雄氏 (中小企業家同友会全国協議会政策委員会 地球環境部会長  
/ 愛知中小企業家同友会 副会長)

駒宮 博男氏 (NPO 法人地球の未来 代表理事) ※欠席

山田 一雄氏 (建設業)

アドバイザー 伊藤 和正氏 (経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部エネルギー対策課  
課長補佐)

森下 研氏 (株式会社エコマネジメント研究所 代表取締役  
/ 財団法人地球環境戦略研究機関 持続可能性センターエコアクション  
21 中央事務局 事務局次長)

常富 豊氏 (環境省中部地方環境事務所 生物多様性保全企画官)

参加者 合計 44 名

内容：平成19年度NGO/NPO・企業環境政策提言における「優秀提言」の報告会と平成20年度協働型環境政策の立案・実施に際して「温室効果ガスの排出削減」「生物多様性の保全」をテーマに政策意見交換を実施。

##### 3) 政策テーマの選考・決定

#### ii ESD(持続可能な開発のための教育)の推進

- ・なごや環境大学 ESD 講座「つぶやきをカタチにしよう ～ESD的学びをつくろう～」  
第2四半期においては、全講座5回の予定のうち最終回を実施。概要は、以下の通り。

- 1) 第5回その1「未来をつくる学び」をデザインしよう  
～こども、おとな、学校、企業、地域が求める学びのしくみ  
日時：平成20年8月2日(土) 13:00～18:00  
場所：EPO 中部  
参加者数：6名  
進行：新海洋子・桜井温子  
内容：ESD 的学びの内容・手法・しくみについてこれまでの講座をふりかえり、重要な視点を抽出するワークショップをおこなった。
- 2) 第5回その2「未来をつくる学び」をデザインしよう  
～こども、おとな、学校、企業、地域が求める学びのしくみ  
日時：平成20年8月29日(金) 14:00～18:00  
場所：EPO 中部  
参加者数：6名  
進行：新海洋子・桜井温子  
内容：ESD 的学びの内容・手法・しくみを体系化し、まとめた。
- 3) 番外編「持続可能な未来を拓く教育をめざして」  
日時：平成20年8月2日(土) 10:00～12:00  
場所：EPO 中部  
ゲスト：宮城県気仙沼市立中井小学校 及川 幸彦氏  
参加者数：10名  
進行：新海洋子・桜井温子  
内容：気仙沼市では豊かな自然を活かした環境教育を基軸に、小・中・高校にて、さまざまな教科をつなぎながら、また地域のNPOや大学なども連携しながら、豊かな学びの場をつくっている。及川幸彦氏は、その仕掛け人。気仙沼市立面瀬小学校にてそのしくみをつくりあげ、その後気仙沼市教育委員会にて、ESDを他地域にひろげる横展開と、小・中・高をつなぐ縦展開に積極的に取り組まれた。そしてこの4月から気仙沼市立中井小学校の教頭となり再び現場でESD実践を展開している。及川氏の熱き教育観を学び、どのように子どもの育つ環境を豊かに変えていくことができたのか、成功要因、課題となったこと、どのように仕掛けたのか、どのような力があつたのか、など多様な視点からの方法論からヒントを得た。

- ・かすがい KIZUNA プロジェクトサポート事業：推進委員会への参加

- 1) 日時：2008年7月10日(木) 18:30～21:00  
場所：中部大学 参加者：5名  
内容：今年度実施小学校との年間プログラムの検討
- 2) 日時：2008年8月8日(金) 18:30～21:00  
場所：中部大学 参加者：6名  
内容：春日井市政65周年記念事業シンポジウム企画準備
- 3) 日時：2008年8月23日(金) 18:30～21:00  
場所：中部大学 参加者：6名  
内容：KIZUNAラーニング6年生の福祉プログラムについて
- 4) 日時：2008年9月24日(水) 18:30～21:00  
場所：中部大学 参加者：7名  
内容：春日井市政65周年記念事業シンポジウム開催準備

- ・ESD 主体基盤強化プロジェクト事業  
プロジェクトチーム会議の実施

・第1回

日時：2008年7月30日（水）14:00—17:00

場所：EPO 中部

参加者：12名

内容：ESD 推進に関する課題の整理及び今後の方向性についての議論を行った。

・第2回

日時：2008年8月28日（木）15:00—18:00 参加者9名

19:00—21:00 参加者6名

場所：EPO 中部

内容：ESDを推進するための政策、制度

壁のない学び（分野を越える、セクターを越える、世代を越える等）

学校と連携するために必要な事柄

若者や子どものおかれている社会環境

持続可能な社会のビジョン

以上の5点についての意見交換と解決にむけた行動について意見を交わした。

・ESD-T 担い手会議（毎月1回定例で実施）

第4回：日時 2008年7月16日（金）19:00～21:00 4名

第5回：日時 2008年8月22日（金）19:00～21:00 3名

内容：EPO 中部と協力しておこなう活動について、および事例調査について企画運営の話し合いを行った。

・中部 ESD 拠点協議会運営委員会

月1回運営委員として参加。RCE 拠点として、地域の活動を繋ぎいかに世界に発信していくかを検討・議論している。

・ESD 事例調査

地域で実践されている多様な学びから、ESD 推進の要素、要点を抽出することを目的にESD-Tと協力してヒアリングを実施した。

＊小牧市立 光が丘中学校：2008年7月2日（水）：地域との融合した環境活動

＊愛西市立草平小学校：2008年9月3日（水）：小学校における環境教育

＊NPO 法人はつくるべりーじゃむ：2008年9月21日（日）：地域で学ぶ食農体験

その他事前打ち合わせ等については、業務日報参照。

## ■添付資料

- 1) 中部環境パートナーシップオフィス 7月報告及び業務日報
- 2) 中部環境パートナーシップオフィス 8月報告及び業務日報
- 3) 中部環境パートナーシップオフィス 9月報告及び業務日報
- 4) 中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、管理 7月
- 5) 中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、管理 8月
- 6) 中部地区の環境関連団体の基礎資料の収集、管理 9月